

2026年 5月 13日

産婦人科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「 当院での進行・再発子宮体癌症例に対する DUO-E レジメン(デュルバルマブ、オラパリブ併用療法)の治療効果に関する検討 」への協力をお願い

産婦人科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2024年11月22日～2026年4月30日の間に、当科において、進行・再発子宮体癌の治療のために、DUO-E レジメンの治療(デュルバルマブ、オラパリブの投与)を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2031年10月31日

研究目的・利用方法：

当院で進行・再発子宮体癌と診断され、デュルバルマブ、オラパリブの投与を受けた患者さんが対象です。今までに報告されている疫学との比較や、治療効果を評価し、今後の診療に役立てていきたいと考えています。

研究に用いる情報の項目：

以下の項目について、診療録より取得します。

年齢、臨床進行期、妊娠分娩歴・閉経歴、既往歴、合併症、腫瘍マーカー、MRI/CT 所見、病理所見、MMR 遺伝子検査の結果(施行例)、治療内容(手術、薬物療法、放射線治療)、治療効果(腫瘍径、腫瘍マーカー推移)、有害事象、無増悪生存期間、全生存期間

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：2026年5月15日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結

果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 産婦人科
氏名：磯部 真倫(いそべ まさのり)

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 産婦人科
電話番号：058-230-6349
氏名：坊本 佳優(ぼうもと よしまさ)

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸1番1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp